

## 最後だから最高のものに…

9月には、「最後の」体育大会があります。高校によっては、「体育大会」がない学校もあり、人によっては人生「最後の」体育大会になるかもしれません。そんな体育大会だからこそ、3年生全員で「最高の体育大会」にしたいです。

そのために頑張してほしいことが「勝ちにこだわること」と「価値にこだわること」の2つ。1つめの「勝ちにこだわること」については、みんなもよく分かると思います。当日1位を目指して頑張ることはもちろん、自信をもって競技に参加できるよう練習から頑張らしましょう。全力で声を出したり・アイデアを出したりするなかで自分たちの成長を実感できれば、本番自信をもって競技に参加できるはずです。また、事前取組も行われます。事前取組でも、3年生として、切磋琢磨していき、団をリードする姿を作っていきましょう。

また、2つ目が、「価値にこだわること」。始めの集合、競技の合間の私語なし、競技の入退場の速さ…。順位が問われないところでどれだけ頑張ることができるかを大事にしたいです。そんな姿にこそ、個人の心の強さや学級・学年のまとまりがあらわれてきます。



上の写真を見て下さい。結団式での3人の団長の顔です。表情や口の開け具合からも一生懸命さが伝わってきます。結団式では勝ち負けがつくわけではありません。それでも、自分の思いを伝えようと一生懸命がんばる姿は見ている人の心を打ったはずです。だからこそ、そのあとの声出しで頑張れた人も多くいたのではないのでしょうか。

こうやって、仲間と一緒に頑張ることで、今まで限界だと思っていた「壁」を乗り越え、自分の成長を実感できることがあります。そういう成長を感じることで「最高の体育大会」に近づいていきます。

## 確かな「土台」の上に…

そんな行事を支える土台となるのが「日常」です。登校日の22日でも、挨拶ボランティアを行う生徒会執行部がいました。朝の会前に下靴を確認する生活委員がいました。下校時に教室を確認する環境班がいました。29日の学校生活が始まってからは、もっと多くの係や委員会が動き、7月の良かった姿に近づきつつあります。ぜひ、9月14日の取組までに行事に全力で取り組める日常にまで高めていきましょう。そんな高まった日常は行事だけではなく、進路にもつながっていきます。7日・8日にあるテストや毎月行われていく実力テストに向けて、学級の学習も高めていきましょう。

、行事だけにつながるわけではありません。当然、テストにもつながっていきます。

日常を大切にする、

また、「最後」は体育大会だけではありません。生徒会選挙・後期の組織決めも「最後」となります。人任せにせず、一人ひとりの力を発揮し、学校・学級を高めていけるよう前向きに取り組んでいきましょう。「最後」だからこそ、「最高」のものにする。

本番を成功させるために頑張りたいことの1つ目が、「勝ちにこだわる」こと。例えば、新しく行う縦ムカデ。当然、始めはうまくすすめないことでしょう。そこで、あきらめるのではなく、どういう順で並ぶのか、足をどうそろえるのかを各クラスや班でアイデアを出し合い、それを実践し、うまくいかなければまたアイデアを出す。その過程で記録が伸びていきます。そうやって、練習から全力で取り組み、本番1位になったらとても嬉しくなるはずです。

また、「勝ち」にこだわるのは競技だけではなく、座る姿・並ぶ早さなどでもこだわりたいです。練習開始を早くするために、

例えばリレー。

縦ムカデの練習をするときに、うまく進めなかったとします。その時に、「どうすれば早く進めるのか」

横で見ている人たちが「肩を組むといいよ。」や「1の時の足を決めるといいよ。」などアドバイスをしていきます。

時には、思い通りにいかず転んでしまうこともあるかもしれません。そうやって、全力でつないで

さらに、自分は学年練習でも、体育大会当日も全体に指示したり、本部にいたり、みんなとは一緒にいられません。つまり、「自分たち」で頑張るしかないのです。他のクラスよりもより一層、心の強さが求められます。結果が良いときはもちろん、例え結果が出なくてもどれだけ自分たちで切り替え、盛り上げられるかが大事になります。「最後」の体育大会に向けての「最後」の学年練習。雰囲気作り方も考えていきましょう。